## 組曲「都筑風土記」3

## つきでまつ あき 月出松の秋

加羅古呂庵 一泉

自然が豊かで歴史のある横浜市都筑区の風景をテーマとして、「古民家の春」「大塚・歳勝土の夏」「月山松の秋」「山田富土の冬」「都筑の嵐」の5曲を作曲しました。いわば「都筑嵐土記」として、組曲のように5曲通して演奏してもいいですし、演奏する機会・場所に応じて、1~2曲ランダムに演奏してもいいでしょう。

## 月出松の秋

横浜市都筑区は遊歩道が整備されていますが、その南側の遊歩道は、早渕カナリア公園から加賀原バス停まで 8.7km に及んでいます。その終点近くに「月出松公園」があります。

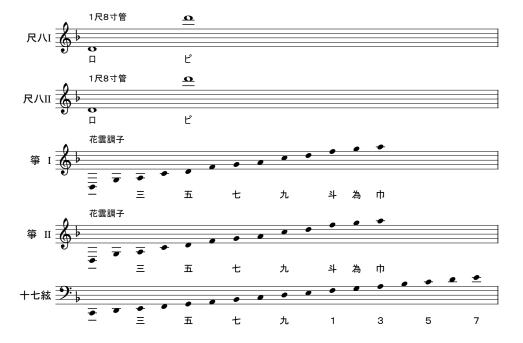
「月出松」は、もともと「<sup>\*</sup>鼬 松」という松があって、地名(字名)になっていたといいます。ところが、遺跡の調査が行われた際には、「月出松遺跡」となっていました。縦書きから横書きにした際に、「朏」を「月出」にしてしまったのかもしれませんが、それはそれで情緒のある名前になったともいえます。

「朏」の意味は、三日月。あるいは、明け方の薄暗いさまをいうそうです。月を見て暦を測っていたころは、月の満ち欠けを新月から数えたのですが、新月だと月が出ているのかどうかもわからないので、実質的に三日月が月の出を知る始まりだったようです。

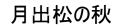
そうであるならば、「月出松」の月は三日月であるはずなのですが、「月出松公園」の石の銘板には、満月の中に兎がいる陶板がはめ込まれています。字も変化しましたが、月も三日月から満月のイメージに変化したようです。

「月出松公園」自体は、平凡な丘です。その土の下には「加賀原遺跡」が眠っています(「月出松遺跡」は別のところにあるので、ますますややこしくなります)。縄文時代中期、およそ 4,500 年前の集落の跡だといいます。その丘の一部に小さな森が残されています。松はないのですが、足を踏み入れると、何とも居心地のいい森です。

この曲を、三日月をイメージして聴くか、満月をイメージして聴くかはご自由 にどうぞ。



運指、奏法については、適宜工夫していただいてけっこうです。



加羅古呂庵 一泉 作曲 2020. 6. 6

















月出松の秋 Tsukidematsu no Aki









12



